

おなかが痛い! 「急性虫垂炎」という病気を知ろう

監修 千葉大学医学部附属病院 食道・胃腸外科 大平 学 医師



みなさんは、おなかが痛くなったことはありますか？
多くの方が「ある！」と答えるのではないのでしょうか。
おなかが痛くなる病気はいろいろありますが、今号では、
病院に行くことを急いだほうがよい「急性虫垂炎」について
お伝えします。

小学校高学年～20歳くらいに
比較的多く発症するらしいピツ...



急性虫垂炎って、どんな病気なの？



さゆうせいちゆうもいえん だよー



〈病名のお話〉

この病気は昔から「盲腸」と呼ばれる
ことが多いのですが、盲腸という病気は
ありません。正しい病名を覚えましょう！

- 正しい病名 「急性虫垂炎」
- × 間違っている病名(呼び名) 「盲腸」

急性虫垂炎は、盲腸の先にある「虫垂」
という袋状の臓器が炎症を起こす病気です。
どうして虫垂が炎症を起こしてしまうのか
みてみましょう。



炎症の原因と考えられている仕組み

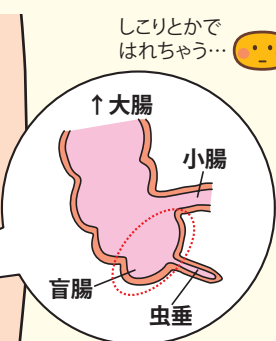
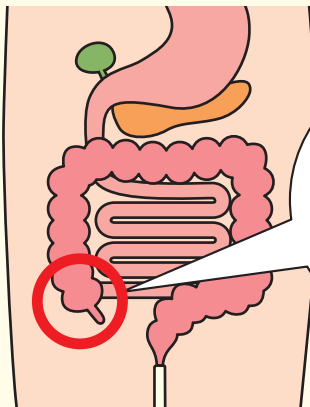
原因は、はっきりわかっているわけではありませんが、今の時点では、
下記のようなことではないか、とされています。

原因物質とされている細菌やウイルス、しこりなどで、
虫垂がはれてつまってしまい、炎症を起こしてしまいます。

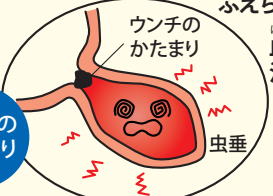
はっきりわかって
ないんだって～



大腸の一番奥にある
「盲腸」にくっついている
細長い臓器が「虫垂」で、
小指くらいの大きさ
らしいピツ



内部に細菌などが
ふえちゃう



血液がうまく
流れない

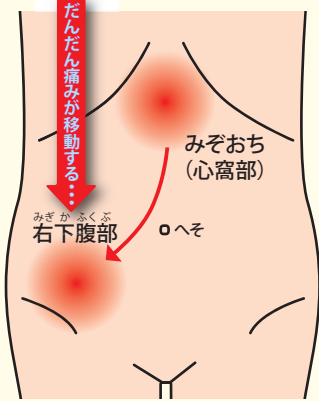
ぼくのかたまり...





個人差はありますが、急性虫垂炎の症状には、以下のようなケースがあります。

特徴的な症状の例



まず、みぞおち (心窩部) が痛む

▼ 時間がたつと…

ケース1 痛みがおなかの右下に移動する

※ すべてのケースに現れるわけではありませんが、虫垂炎の特徴的な痛み方の一つです。



ケース2 おなかの右下が痛む

おなかに
ひびくらしいわ…

ケース3 少しの衝撃で、おなかにひびくように痛む

※ 例えば、ふつうに歩くだけでも、足を着地するときにおなかにひびいて痛みます。



その他

食欲がない、吐き気がする、おう吐、発熱、下痢、おなかが張るなどの症状がある

※ 初期のころは、微熱のことが多く、倦怠感 (だるい感じ) もよくみられます。症状が進んでくると高熱が出たり、痛みも強くなることが多いです。



痛み方、知っておいてよかった～。「虫垂炎かも」って早く気づけるかもしれないよね!

痛くなりはじめのころは、痛みの強さが一定じゃなくて、弱くなったり強くなったりすることもあるし、人によっては、がまんできないほど痛くなることもあるピッ



病院に行って診断

急性虫垂炎は、胃腸炎などの症状とも似ているので、医師でも見分けることがむずかしい病気です。

病院では、血液検査やX線検査、超音波検査、CT検査などで急性虫垂炎かどうか判断していきます。

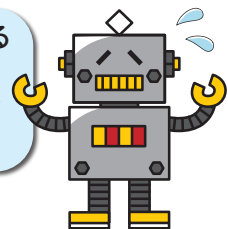
科学的な診断がだいじ!

CHECK

早めに病院に行って、みてもらうことが大切だピッ!



この病気は自然になおることはないらしいよ! 時間がたつほど症状がひどくなるんだって。



治療方法

手術による治療

急性虫垂炎の治療の基本は手術です。
虫垂を手術で取ってしまう治療です。



手術は、再発する心配がなくなるピツ。
お薬で治療する場合は、もしかしたら再発する場合もあるかもしれないピツ。
それぞれのいい点、悪い点と病状をふまえて決めていくピツ

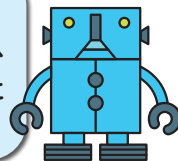


抗生物質（抗生剤・抗菌薬）というお薬による治療

虫垂で悪さを働いている細菌を見定めて、その細菌に効くお薬を飲んだり、点滴したりして治療します。



「盲腸を散らす」って聞いたことあるけど、抗生物質の治療のことだったんだね！



日ごろの生活で気をつけたいこと

便秘をしないように
食物繊維をしっかりと、
バランスの良い食事をしましょう！



ウンチのかたまりができるのは、便秘が関係していると考えられていますので、便秘にならないようにしましょう

暴飲暴食をせず、腸に負担をかけないようにしましょう！



規則正しい生活をしましょう！

早寝早起きを心がけ、睡眠時間をたっぷりとり、運動不足にならないようにしましょう



じゅくすい中は腸もお休みするよ

このような病気があることを覚えておいて、同じような症状がみられた場合は、早めに受診するように心がけてください！



小児科、一般外科、
消化器内科・外科などを
受診してピツ！

すぐに受診してね！



保護者のみなさまへ

- この病気の初期症状は、他の病気の症状とも似ており医師でも鑑別が難しいため、受診後も症状が改善しない場合は、再度受診することが重要です。
- 近年では、発症が低年齢化し、小学校低学年や園児にもみられるようになりました。小さなお子様は、症状を伝えることが難しいため、重症化しやすいと言われています。ためらわず、早めの受診をご検討ください。
- 治療方法については、手術と抗生物質それぞれにメリットデメリットがあるため、症状に適した治療法を選択してください。

インターネット上で目にする虫垂切除の情報について

「虫垂を切除すると、大腸がんになる」という記事があるようです。

このような論文も存在するのですが、逆に「虫垂切除と大腸がんは関係ない」という論文もあり、現時点での結論は出ていないようです。虫垂を残す治療にこだわって、汎発性腹膜炎*になってしまった場合は本末転倒ですので、主治医と相談し、お子さまにとって最善の治療方法を選択なさってください。

*汎発性腹膜炎…内臓の炎症が腹膜全体に急激に広がってしまう状態のこと

